

# 令和4年度 自己評価・学校関係者評価報告書

宗教法人カトリック福岡司教区 小倉カトリック幼稚園

## 1. 本園の教育目標

- ・円満な家庭を中心にし、その子どもを養育する責任者である保護者を助ける教育をする。
- ・キリスト教精神に基づいて、しつけ、および道徳教育を行う。
- ・年齢に応じた体づくりにより、子どもの将来の豊かな人格を目指す自主・自立の精神を養う。
- ・集団生活を通して、協調性と人々への思いやり、心の豊かさを身に付ける。

## 2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

本園の教育理念・教育方針のもと、その教育目標に沿った評価項目について自己点検・自己評価を実施することによって、教職員が客観的に自らを振り返り教育内容の改善に取り組んでいく。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価 A: 達成している B: 一部達成している C: 一部改善を要する D: 改善を要する

	評価項目	評価	取り組み状況・結果
1	子ども達が、より安心・安全に過ごせる保育の場を提供する。	A	園児の出欠等、見える化し、園全体を全職員把握できるようチェック体制を整えた。また、職員間の連絡がスピーディーに行えるよう無線トランシーバーを取り入れた。このことが、安全危機管理をより高めることに繋がった。
2	研修に参加し教師間で共有し保育の質・職員の資質向上を目指す。	B	リモートによる研修ではあるが、日頃の保育を振り返り、工夫し、保育に取り入れることができた。職員間で共有することが、より資質向上にも繋がった。
3	コロナ感染対策に努め、行事を工夫し保護者参加を図る。	A	感染予防を子どもも自然と行えるように身に付いた。保護者参加行事を改善しながら参加人数を増やすことができたのは良かった。

## 4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

評価	理由
B	園内で安全危機管理に取り組み、よりスムーズに職員間の連携を高めるため、無線トランシーバーを取り入れたのは、安心・安全に繋がった。コロナ感染による人材不足が保護者へ不安を与えたため、保護者の安心のためにも園での取り組みをもっと積極的に発信することが必要だった。

## 5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	安全危機管理	子ども達の安全を確保するためにも人材確保が課題である。
2	教師の資質向上	限られた時間の中、研修の機会を増やすこと、学んだことの共有。
3	保護者の行事参加	コロナ感染から3年過ぎ、新たな行事の在り方。参加の仕方。

## 6. 学校関係者の評価

- 行事を中止すること無く人数制限等の対策を講じた上で開催出来て良かった。
- どの様な研修に参加し、どう生かされたのか保護者に発信してほしい。
- 安定した保育を行うためにも人材確保に努めてほしい。
- 事故なく安心して過ごし、預けることができた。

委員会実施日

令和5年2月14日